

注 意 報

農技セ第5514号
令和7年8月5日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和7年度農作物病害虫発生予察情報について

令和7年度農作物病害虫発生予察注意報第5号を発表したので送付します。

令和7年度病害虫発生予察注意報第5号

令和7年8月5日
徳 島 県

7月第3半旬から第6半旬に行った県内野菜栽培圃場のシロイチモジヨトウ(写真1)を対象としたフェロモントラップ調査において、成虫の誘殺数が平年に比べて3.5倍多く、今後、本幼虫による被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

生産現場におきましては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：ねぎ

病害虫名：シロイチモジヨトウ

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 8月上旬～
3. 発生程度 多（前年より多く、平年より多い）

4. 注意報発令の根拠

(1) 県内の野菜栽培圃場7地点に設置したフェロモントラップ調査において、7月第3半旬から第6半旬までの平均誘殺数が1,236頭と、平年(351頭)の約3.5倍となった(図1)。

特に、徳島市川内町では1,126頭と、平年(144頭)の約7.8倍(図2)、徳島市不動西町では1,879頭と、平年(529頭)の約3.6倍となった(図3)。

(2) 高松地方气象台が7月31日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込みとされており、今後、栽培圃場への飛来および加害の増加が予想される。



写真1 シロイチモジヨトウ 卵塊

写真2 シロイチモジヨトウ幼虫

写真3 シロイチモジヨトウ成虫

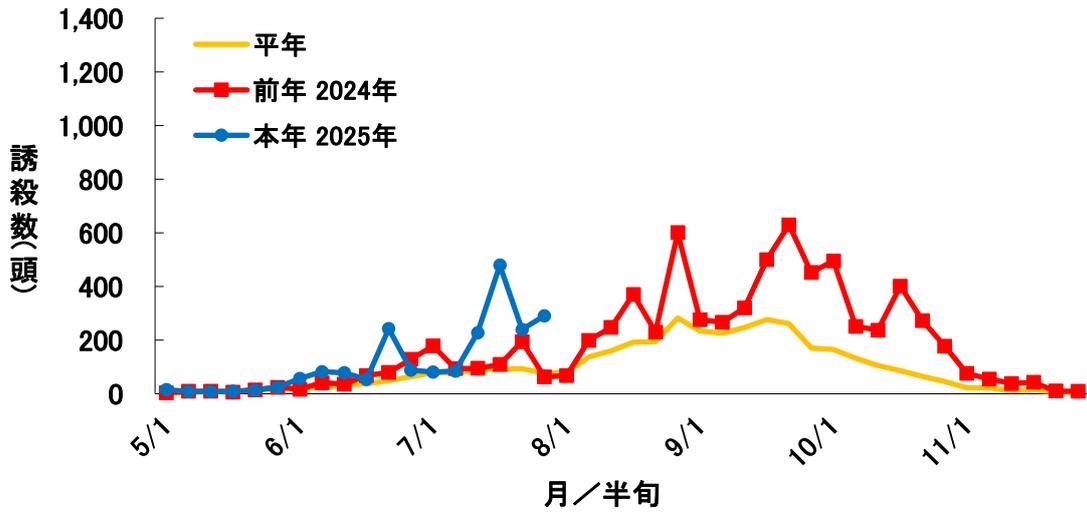


図1 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移
(徳島市、石井町、阿波市、吉野川市の野菜圃場7地点平均)

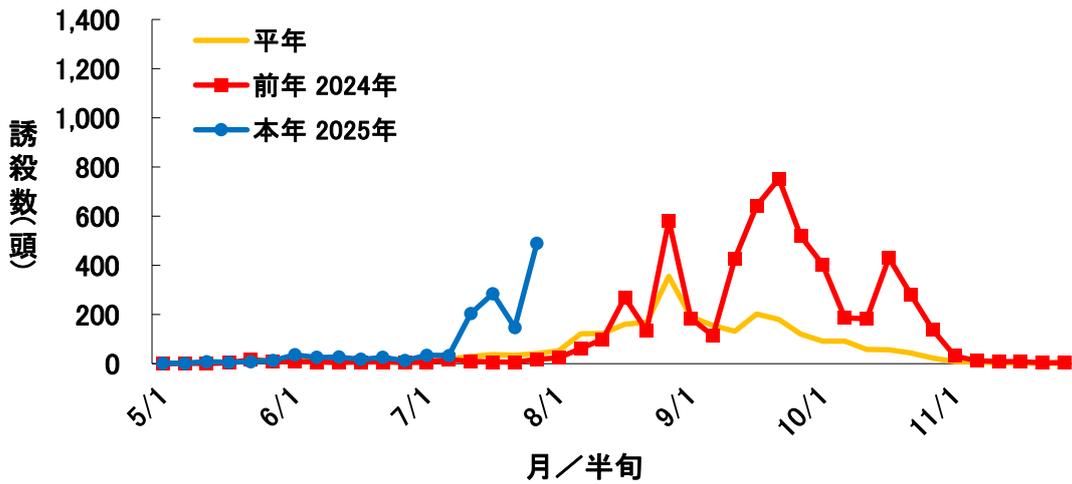


図2 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移
(徳島市川内町野菜圃場)

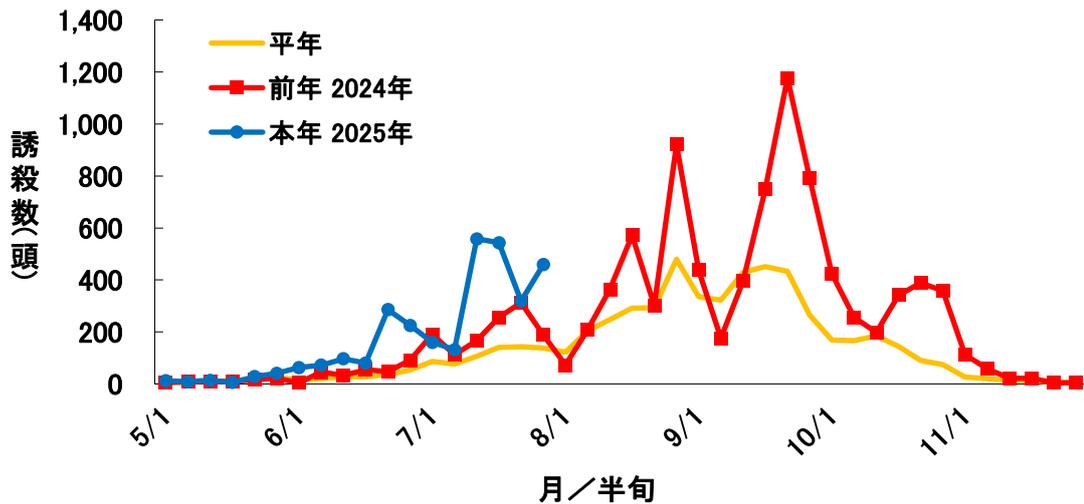


図3 シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数の推移
(徳島市不動西町野菜圃場)

5. 防除法等

(1) 中・老齢幼虫には薬剤の効果が低くなるので、若齢幼虫期に防除する(表1)。

(2) 卵塊や分散する前の若齢幼虫を発見したら、速やかに捕殺する。

(3) ねぎでは幼虫が葉身内へ食入してしまうと、薬剤の効果が低下するため、被害を確認したら直ちに防除を実施する。

(4) 防除については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)

(5) 今後の発生動向については、徳島県立農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病害虫防除所の各種データ・フェロモンのページを参考にする。

(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/various-data/various-data/7303431/>)

表1 ねぎでシロイチモジヨトウに登録のある農薬(令和7年8月1日現在)

薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	I R A C コード
ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
コテツフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	13
ハチハチ乳剤	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	21A
フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内	28
プレバソフロアブル5	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	
グレーシア乳剤	2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内	30
プレオフロアブル	1000倍	収穫3日前まで	4回以内	UN